

事務事業名		水の縁推進事業		所属部	政策企画部	所属課	地域振興課
総合計画体系	政策名	〈 I 〉みんなで築くまち〈 協働・行政経営〉		所属G	公共交通・尾原ダム振興G	課長名	西村健一
	施策名	〈 01 〉市民が主役のまちづくりの推進		担当者名	多根英志	電話番号	0854-40-1013 (内線) 3519
	目的: 対象	市民	意図	まちづくりの課題を主体的に解決する。			
	基本事業名	〈 003 〉まちづくり活動の拠点整備		予算科目	会計 款 大事業 大事業名 0 1 1 0 0 7 項 目 中事業 中事業名 0 5 6 5 1 0	ダム湖周辺地域活性化事業 水の縁推進事業	
目的: 対象	活動している市民		意図	活動しやすい場所がある。			

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (25 年度 ~ 34 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	尾原ダムが完成し、尾原ダム水源地域ビジョンに掲げる「つなげよう、育てよう、活かそう“さくらおろち湖”」の実現に向け、水源地域の活性化のための事業を展開している。このビジョンに基づく各種プロジェクトを実施する地元住民や地域づくり団体等の取り組みが自主的持続的な活動となるよう、周辺施設を活用した様々な活動(イベント等)を支援する。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	28年度実績(28年度に行った主な活動) ・景観保全・景観創出業務(2) さくらおろち湖周辺の景観を向上させるために、周辺の森林や斜面に繁茂するクズやカズラ等の駆除や植樹植栽による景観創出活動を支援する ・地域づくり支援(スポーツ振興)業務 ・ダム湖や周辺施設等を活用したトレイルラン大会やトライアスロン大会、ランニングバイク大会などスポーツイベントを支援する ・観光レクリエーション業務 ・斐伊川流域で繋がる上下流域交流イベント(ダム湖まつり、そば打ち交流)などを支援する	29年度計画(29年度に計画する主な活動) ・景観保全・景観創出業務(2委託) さくらおろち湖周辺の景観を向上させるために、周辺の森林や斜面に繁茂するクズやカズラ等の駆除や植樹植栽による景観創出活動を支援する ・地域づくり支援(スポーツ振興)業務 ・ダム湖や周辺施設等を活用したトレイルラン大会やトライアスロン大会、ランニングバイク大会などスポーツイベントを支援する ・観光レクリエーション業務 ・斐伊川流域で繋がる上下流域交流イベント(ダム湖まつり、そば打ち交流)などを支援する				
	② 活動指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	ア 委託数	件	16	5	4	4
	イ					
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	市民	ア 人口	人	39,472	38,990	38,506	38,477
		イ					
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)	
尾原ダム周辺施設を活用した各種事業を展開し、訪れやすいようにする	ア さくらおろち湖周辺イベント来訪者	人	70,205	80,091	86,810	85,000	
	イ						
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳(28年度決算)	② コストの推移	単位	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(計画)	
さくらおろち湖周辺景観保全業務(3,200千円) さくらおろち湖周辺植栽・景観創出業務(3,500千円) さくらおろち湖周辺観光レクリエーション支援業務委託(7,080千円) 尾原ダム周辺 地域づくり(スポーツ振興等)業務委託契約(1,998千円)	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円				
		地方債	千円	5,700	10,100	12,500	11,400
		その他	千円				
		一般財源	千円	5,550	5,771	3,278	3,728
	事業費計(A)	千円	11,250	15,871	15,778	15,128	
人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2		
	延べ業務時間	時間	1,920	3,820	4,200		
	人件費計(B)	千円	7,465	14,951	16,661		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	18,715	30,822	32,439		

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
尾原ダムが完成し、周辺施設を活用した本事業が本格化している。平成25年9月には、尾原ダム水源地域ビジョンが策定され、「つなげよう、育てよう、活かそう“さくらおろち湖”」の実現に向け、各種プロジェクトを実施している。	尾原ダム水源地域ビジョンに基づき着実に事業実施している。10年期の計画であり、早期(3年)プロジェクトが終了し、引き続き、中期プロジェクトを実施していく。	水源地域ビジョンに基づく、流域交流イベントの活発化、観光資源として周辺施設の積極的な活用による、尾原ダムの魅力の向上に期待が寄せられている。

事務事業名	水の縁推進事業	所属部	政策企画部	所属課	地域振興課
-------	---------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由																		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒																			
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？																				
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？																				
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒																			
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？																				
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	雲南市の観光資源であり、この周辺施設を活用した経常的な経費であり、向上余地はない。																		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない																				
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	管理が出来なくなる。																	
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有																				
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由																		
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)																			
	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない	国の直轄施設であるため、類似手段がない。																			
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由																		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない																			
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？																				
B 有効性	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由	上下流域の交流事業を展開していくため、また、景観保全の維持管理をするための最低限経費であり削減余地は無い。																		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない																				
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	既に委託事業により実施している。																	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である																				
評価の 総括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)																		
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																	
① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)			<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上																				
	維持	●	×																		
	低下	×	×																		
<p>水源地域ビジョンに基づく実施プロジェクトの実施に当たり、毎年度、地域住民や地域づくり団体からの意見を踏まえ検証しながら事業展開している。</p>			<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		

3 今後の方向性【PLAN】